

事務事業名	真岡地区安全協会参画事業				担当	市民生活部 市民生活課 交通安全係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	8	交通安全の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	8. 交通安全対策費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡地区交通安全協会の活動への参画。 真岡地区交通安全協会は真岡警察署管内各交通安全協会支部及び運輸部会等の関係団体により組織されている。 活動内容は交通安全啓発活動、交通安全関係団体（女性部会、母の会等）への活動助成、交通安全功労者等の表彰を実施している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 協会負担金を支出  30年度計画 平成29年度と同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア 負担金の支出額	千円	250	250	250	250	250		
イ								
ウ								
エ								
オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡地区交通安全協会	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア 安全協会会員数	人	33,809	33,105	32,559	32,141	32,000		
イ								
ウ								
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 協会の交通安全活動の活性化を支援する	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア 警察便りの発行 <年3回>	部	110,700	110,700	110,550	110,550	110,550		
イ								
ウ								
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア 交通事故件数(暦年)	件	211	191	181	138	138		
イ 事故死者数(暦年)	人	4	6	2	4	2		
ウ 負傷者数(暦年)	人	261	229	222	157	150		
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	250	250	250	250	250
	事業費計(A)	千円	250	250	250	250	250	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2
		人件費計(B)	千円	8	8	8	8	8
トータルコスト(A)+(B)		千円	258	258	258	258	258	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	広域的な交通事故防止のため、真岡警察署管内の交通安全啓発活動を支援した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	高齢者の事故発生割合が増えていることから、全県下において高齢者に優しい3S運動を強化している。3S運動とは、高齢者の命を守るため、自動車を運転する者は、早めに高齢者を見出し（SEE）、発見したら必ず減速し（SLOW）、道路を横断する高齢者を見かけたら必ず停止する（STOP）高齢者に優しい運転心がける運動である。